

道の駅で販売予定！

「笠井さんの梨」は、道の駅なみえで10月中旬ごろまでに販売予定です。出荷時期が少しずつ異なる品種を計8種類出荷します。味の違いをお楽しみください。



笠井 宏光さん
(立野地区)

梨のほかに、お米とタマネギの生産を行っています。少ない人手でも大きくておいしい、高品質な梨を目指して日々農作業に従事しています。

梨の木の枝を選んで切ります。大きくなりすぎた枝や、去年からの古い枝を切ることで、新しい枝がたくさん生えるようになります。この後の作業を楽にするためには、作業工程をイメージして、枝を切ったり、残したりすることが大切です。

2月



大きく実りました！



梨の生産工程について知ろう！

甘くて大きな梨を作るためには、数を減らして甘さを凝縮させることが大切です。そのため梨の生産は一貫して良いものを選抜していく作業の積み重ねになります。

4月



今年は暖かいため、早めに花が咲きました。花が咲いたら、やがて実になるので、つぼみの段階で部分的に摘み取り、花の咲く数を減らします。残した花は、綿で花粉をつけて受粉させます。



受粉の様子

6月



実が大きくなってきました。収穫2週間前までを目安に段階的に実を落とし、最終的に1本の枝に5～6個の実が残るようにします。

7月



出荷までの残り1か月でさらに倍の大きさに成長します。この時期が総仕上げで、腐ったり傷んだりした実を取り除き、収穫する実を選びます。残しすぎても十分に育たず、減らしすぎてもいけないので、注意が必要です。雨が少ない場合は、水まきをすることもあります。

TEL 0240-340246
農林水産課農林水産係



連絡用フォーム

※従来通り電話で連絡いただくことも可能です。

- ・鳥獣被害の状況
- ・鳥獣対策の相談
- ・捕獲依頼
- ・被害状況の確認

連絡できる情報例
鳥獣被害や対策相談、捕獲依頼に関するお問合せをWEBフォームから連絡できるようになりました。

鳥獣被害をWEBから連絡できるようになりました

INTERVIEW

みんなの鳥獣対策

甘い果物は動物も大好きです。浪江町内でも様々な果物が栽培されており、現在は秋の収穫に向け佳境の時期です。

今回は、野生動物に食べられずに、おいしい果樹を生産するための農作業と鳥獣対策について密着しました。



設置作業の様子

梨農家に密着！

対策① 防鳥ネット（7月初旬に実施）

7月になると、カラスが実を食べに来るため、ネットを張って守ります。家族とお隣さんにも手伝ってもらい、竹棒やロープを使ってネットを広げました。ネットを切ってしまうとそこからカラスが侵入してしまうので、慎重に作業をする必要がありますが、例年2日かかっていた作業を、今年は1日で実施することができました。

設置完了！



対策② 除草（4回実施）

防草シートの脇から生えてくる雑草も、伸びれば電気柵の漏電に繋がったり、害虫発生の原因になります。今年は4月から計4回除草を実施しました。

対策③ ニホンザル対策用防護柵

生産地の立野地区では、ニホンザルの群れが出没するため、イノシシ対策用ワイヤーメッシュ柵（WM柵）の上に電気柵を併設し、よじ登るサルが電線に触れることで感電する仕組みをとっています。昨年は、WM柵の網目が大きい部分から、子ザルが入り込んでいたため、子ザル対策の電気柵を地面に併設していましたが、大きな被害がなかったこと、管理が大変なため、今年度は外しました。

